八峰白神ジオパーク認定ガイド 新たに 6名を認定

令和4年度、ジオガイドの養成講座を受講していた 6名が講座の修了および試験の合格により認定を受け ました。

認定ガイドは、ジオパーク活動を普及・推進するこ とを目的に、ジオパークを訪れた人へ地質や地形、歴 史や文化など様々なことをガイドする役割を担ってい

総勢18名となった認定ガイドにより、八峰白神ジ オパークの普及活動を行っていきます。



入札結果をお知らせします!!

■3月20日入札分

○八峰町特定環境保全公共下水道 (八森・沢目処理区) 包括業務委託

契約金額 59,895,000円 (落札率86.32%)

請負業者 株能代広域清掃

○八峰町農業集落排水(石川他2地区)包括業務委託 17,820,000円(落札率99.53%)

請負業者 ㈱能代清掃センター

○八峰町漁業集落排水(岩館地区)包括業務委託

契約金額 15,686,000円 (落札率95.91%)

請負業者(株)能代広域清掃

町で行った入札において、予定価格が130万円以上のもの について、お知らせします。

○八森小学校スクールバス運行業務委託

契約金額 20,746,000円 (落札率90.90%)

請負業者 秋北バス(株)

○峰浜小学校スクールバス運行業務委託

契約金額 19,186,304円 (落札率98.18%)

請負業者第一観光バス(株)

○八峰中学校スクールバス運行業務委託

契約金額 53,094,800円 (落札率90.90%)

請負業者 秋北バス(株)

たむら歯科

〒018-2673 八峰町八森字中家後4番6

TEL:0185-74-6788

診療時間	月	火	水	木	金	土	日/祝
9:00~12:30	0	0	0	0	0	 12:00 ≢で	休
14:30~18:00	0	0	0	0	0	休	休

歯科衛生士募集(パート可)

あなたは愛しいペットが亡くなられたときどうしてますか? 家族の一員として大切にご供養しませんか?

飼い主様の心に寄り添う

PET rest メモリアルパーク

能代市中沢字瓶長根2-5

展示 動-19-12 H30年4月更新 有効期限R5年4月16日 その他譲受飼養許可(老犬ホーム) 動-19-13 H30年4月更新 有効期限R5年4月16日

八峰白神ジオパーク 146回



八峰町産業振興課 ジオパーク推進係 ☎ 0185 (76) 4605 FAX 0185 (76) 2203 HP https://geopark.town.happo.lg.jp/





白神の恵みに生きる



地域の人の話を聞いて、 大地と自然と人のつながりを考えます

「自然」とつながる機会を増やしたい



話をしてくれた人

木村 友治(きむら ともはる)さん・郁代(いくよ)さん 友治さんの出身は仙台市、郁代さんの出身は八郎潟町。 手這坂地区に2012年に移住。二人で農業を行ってい ます。甘いものとお米が大好きな、仲の良いお二人で す。

〇自分たちで農業をしたい

農業研修や青年海外協力隊の経験を経て、自分た ちで農業ができるところを探していました。手這坂 地区は家を貸してもらえ、農地があるということで、 ここに決めて移住してきました。

無農薬にこだわって米づくりを行っているので、 簡単にいくものではありません。雑草は生えますし、 重要なポイントである「水」を田んぼにうまく引き 込むことができない時期もあります。課題が毎年あ りますが、試行錯誤しながら頑張ってやっています。

2021年からは「田んぼの学校」という活動をし ています。スーパーに並んでいるものが、どうやっ てできているかが目に見えなくて、「食」について 「あれ?」と思ったのが始まりでした。そのことを つきつめてみたら、いつの間にか自分たちで無農薬 の稲作をやっていました。

〇人と自然との交流場所を

「田んぼの学校」は、4月から年間を通して、種 まきや田植え、草取り、稲刈り、収穫の作業を、参 加者と一緒に行います。加えて、田んぼ周辺のカエ ルやトンボ、蛍の観察をしたり、収穫後にはきりた んぽや餅、味噌をつくったりします。大人・子ども 関係なく参加可能で、年度途中からの参加や単発で の参加も可能としています。週末、お子さんを遊ば せる目的を兼ねて参加している人もいます。手間を かけて作った米ですし、収穫量もはじめは多くない ので「もったいなくて食べるのを迷う」とおっしゃ っている方もいました。きれいな水で自分たちでお 米を育て、そこに蛍がきて子どもたちが目を輝かせ る姿は、本当にやってよかったと思う瞬間です。

参加者は、町外の方が多いのですが、ぜひ地元の 方にも来てほしいです。遊び場が少なくなっていま すし、現代社会は、大人も子どもも自然と触れ合う 機会がなくなっています。手這坂が、公園とまでは いかなくても、子どもや訪れた人たちの憩いの場に なればと思っています。その一歩としての「田んぼ の学校 | 、人と人との交流、そして自然との交流が、 わが子にとっても自分にとっても重要なことだと感



17 広報はっぽう 2023.4月号 広報はっぽう 2023.4月号 16